

● じつよう にほんご かいわ きょうてい

实用日本语

会话教程



陈一平／编著

福建教育出版社

じつよう にほんご かいわ きようてい

实用日本语会话教程



陈一平 编著

福建教育出版社

图书在版编目 (C I P) 数据

实用日本语会话教程/陈一平编著. —福州:福建教育出版社, 2008. 4
ISBN 978-7-5334-4934-6

I. 实… II. 陈… III. 日语一口语—教材
IV. H369. 9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2008) 第 030773 号

实用日本语会话教程

陈一平 编著

*

福建教育出版社出版发行

(福州梦山路 27 号 邮编: 350001)

电话: 0591-83726971 83733693

传真: 83726980 网址: www.fep.com.cn)

泉州晚报印刷厂印刷

(泉州市新华路 65 号 邮编: 362000)

*

开本 787 毫米×1092 毫米 1/16 11.5 印张 272 千字 2 插页

2008 年 8 月第 1 版 2008 年 8 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-5334-4934-6 定价: 32.00 元

如发现本书印装质量问题, 影响阅读,

请向出版科(电话: 0591-83726019) 调换。

前　　言

本书共 20 课，是编者集长期日本留学生活的体验和多年教学经验编写而成的。本书从中国人学习日语的特点出发，除第一课的日语语言文字的介绍外，精选了 19 个话题，适合大学日语专业低年级学生及日语初学者使用。

本书以培养学习者的语言应用能力为目标。书中每一课都围绕一个主题，由“说明文”“常用语句”“应用会话”“注释”“应用练习”“相关词语”“相关知识”和“小知识”八个部分组成，语言规范、生动、丰富，注重语言实践。内容较完整，按语言特点结合学生的学校学习和生活实际，以学校、家庭、社会环境等题材为主，同时兼顾日本文化、社会、风俗习惯等，循序渐进，让学生能很好地掌握日常会话和日常生活用语，将日语的语言与对日本文化的学习和理解有机地结合起来，具有一定的专业性和实用性。

本书题材多样，内容生动活泼，语言地道、规范，场景生动、丰富，突出对交际能力的培养；书中有丰富、多样的日本社会文化背景知识，内容科学、系统，知识性、趣味性、实用性强。

每课内容编排：

一、说明文。前面配有一小段约 300 字左右的中文说明文，主要介绍该课内容所涉及的文化、社会背景及应掌握的重点，让学生对本课的内容和学习目的在总体上有所了解。

二、常用语句。紧密围绕主题，介绍常用表达方法。

三、应用会话。系本教材的重点。为培养学习者的实际会话能力，每课安排内容相同但场景、人物关系不同的三段简短的对话。对话力求简练、自然，符合日语口语的表达特点。

四、注释。简明扼要地解释句型及对话中出现的语法现象，其重在培养实际应用能力。

五、应用练习。以掌握课文的内容为目的，调动学生积极参与的意识，使学生在练习中提高日语交际能力和应用能力。

六、相关词语。使学生通过比较及认读，轻松、快速地扩大词汇量，增强对相关日语词汇的感知及联想记忆。

七、相关知识。作为课外读物，旨在开拓学生的视野，了解日本语言文化，增强其对日语语感和日语地道表达的更为直观的感性认识；

八、小知识。短小精悍，以风趣的语言介绍日本风土人情、社会文化，使学生在学习语言的同时，增进对日本和日本人的了解。

总之，说明文是提示，常用语句是基础，应用会话是重点，注释是帮助，应用练习是巩固，相关词语是过渡，相关知识是扩展，小知识是补充。通过本书的学习，在短时间内可以达到实际应用，特别是口语表达的目的。

※实用日本语会话教程※※

本书在编写过程中，得到我校外国语学院日语教师和学生的大力支持，原外语系主任、退休日语教师蔡大堂老师和日本友人林利矢子在百忙中审阅全书，提出了宝贵的修改意见，在此一并致谢。此外，本教材还借鉴、参考了日语会话的相关教材以及研究文献，在此谨向各位编著者致谢。

由于编者的水平有限，本书可能还有不少疏漏，敬请读者批评指正。

编 者

2008年5月15日

目 录

だい いつ か にほんご もじ はつおん 第 1 課 日本語の文字と発音 (1)
にほんご もじ 【日本語の文字】.....	(1)
にほんご はつおん 【日本語の発音】.....	(5)
ちゅうしゃく 【注釈】.....	(13)
おうようれんしゅう 【応用練習】.....	(14)
まめ ちしき 【豆知識】日语假名书法作品	(15)
だい に か にちじょう 第 2 課 日常のあいさつ (16)
じょうよう ごく 【常用語句】.....	(16)
おうようかいわ 【応用会話】.....	(17)
ちゅうしゃく 【注釈】	(18)
おうようれんしゅう 【応用練習】.....	(19)
かんれん ご い くに じん げんご 【関連語彙】国/～人/言語	(20)
かんれん ちしき おう ともだち 【関連知識】王さんと友達	(21)
小王和朋友(参考译文)	(21)
まめ ちしき 【豆知識】日本概況	(21)
だい さん か 第 3 課 いってらっしゃい (23)
じょうよう ごく 【常用語句】.....	(23)
おうようかいわ 【応用会話】	(24)
ちゅうしゃく 【注釈】	(25)
おうようれんしゅう 【応用練習】.....	(25)
かんれん ご い や きい かん 【関連語彙】野菜に関することは	(26)

かんれん ちしき しき 【関連知識】四季	(27)
四季(参考译文)	(27)
まめ ちしき 【豆知識】日本国名的由来及读法	(27)
だい よん か なんじ 第4課 何時ですか	(29)
じょうよう ごく 【常用語句】	(29)
おうようかい わ 【応用会話】	(29)
ちゅうしあく 【注釈】	(31)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(32)
かんれん ごい じかん かん 【関連語彙】時間に關することば	(32)
かんれん ちしき わたじ がっこう 【関連知識】私の学校	(33)
我的学校(参考译文)	(34)
まめ ちしき 【豆知識】いろは歌	(34)
だい ご か 第5課 はじめまして	(35)
じょうよう ごく 【常用語句】	(35)
おうようかい わ 【応用会話】	(36)
ちゅうしあく 【注釈】	(37)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(38)
かんれん ごい しょくぎょう かん 【関連語彙】職業に關することば	(39)
かんれん ちしき じこ しきうかい 【関連知識】自己紹介①	(39)
自我介绍①(参考译文)	(40)
まめ ちしき 【豆知識】富士山与樱花	(40)
だい ろつ か 第6課 いくらですか	(41)
じょうよう ごく 【常用語句】	(41)
おうようかい わ 【応用会話】	(41)

ちゅうしゃく 【注釈】	(43)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(44)
かんれんごいすうりょうしがん 【関連語彙】数量詞に関することば	(45)
かんれんちしきわたしだいがく 【関連知識】私の大学	(46)
我的大学(参考译文)	(47)
まめちしき 【豆知識】日本人的语言	(47)
だいななかなんようび 第7課 何曜日ですか	(49)
じょうようごく 【常用語句】	(49)
おうようかいわ 【応用会話】	(49)
ちゅうしゃく 【注釈】	(50)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(51)
かんれんごいきょういくかん 【関連語彙】教育に関することば	(51)
かんれんちしきあんない 【関連知識】案内	(52)
向导(参考译文)	(52)
まめちしき 【豆知識】日本节日	(53)
だいはちかかぞく 第8課 家族	(54)
じょうようごく 【常用語句】	(54)
おうようかいわ 【応用会話】	(55)
ちゅうしゃく 【注釈】	(56)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(57)
かんれんごいかていかん 【関連語彙】家庭に関することば	(58)
かんれんちしきじこしょうかい 【関連知識】自己紹介②	(58)
自我介绍②(参考译文)	(59)
まめちしき 【豆知識】女孩节与男孩节	(59)

だい きゅう か しゅみ 第9課 趣味	(60)
じょうようごく 【常用語句】	(60)
おうようかいわ 【応用会話】	(60)
ちゅうしゃく 【注釈】	(62)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(62)
かんれんごい しゅみ かん 【関連語彙】趣味に関することば	(63)
かんれんちしき しゅみ 【関連知識】趣味	(64)
まめちしき 爱好(参考译文)	(64)
まめちしき 【豆知識】卡拉OK	(65)
だいじゅうか ほうもん 第10課 訪問	(66)
じょうようごく 【常用語句】	(66)
おうようかいわ 【応用会話】	(67)
ちゅうしゃく 【注釈】	(69)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(71)
かんれんごい げいじゅつ かん 【関連語彙】芸術に関することば	(71)
かんれんちしき かていほうもん 【関連知識】家庭訪問	(72)
まめちしき 访问家庭(参考译文)	(72)
まめちしき 【豆知識】鞠躬	(72)
だいじゅういつか しょくじ 第11課 食事	(74)
じょうようごく 【常用語句】	(74)
おうようかいわ 【応用会話】	(75)
ちゅうしゃく 【注釈】	(76)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(77)
かんれんごい の もの かん 【関連語彙】飲み物に関することば	(77)

かんれん ちしき 【関連知識】ランチタイム	(78)
午餐时间(参考译文)	(78)
まめ ちしき 【豆知識】日本的家庭生活	(79)
だい じゅうに か 第 12 課 プレゼント	(81)
じょうよう ごく 【常用語句】	(81)
おうようかいわ 【応用会話】	(82)
ちゅうしゃく 【注釈】	(83)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(84)
かんれん ごい ふくそう かん 【関連語彙】服装に関することば	(85)
かんれん ちしき おく もの たい ほんじん しゅうかん 【関連知識】贈り物に対する日本人の習慣	(86)
日本人送礼的习俗(参考译文)	(86)
まめ ちしき 【豆知識】礼物	(87)
だい じゅうさん か か もの 第 13 課 買い物	(88)
じょうよう ごく 【常用語句】	(88)
おうようかいわ 【応用会話】	(89)
ちゅうしゃく 【注釈】	(91)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(91)
かんれん ちしき みせ 【関連知識】いろいろな店	(92)
各式各样的商店(参考译文)	(93)
まめ ちしき 【豆知識】日本人的处世原则和社会的行为规范	(94)
だい じゅうよん か しょうがつ 第 14 課 お正月	(95)
じょうよう ごく 【常用語句】	(95)
おうようかいわ 【応用会話】	(95)
ちゅうしゃく 【注釈】	(97)

おうようれんしゅう 【応用練習】	(97)
かんれんごい しょうがつ かん 【関連語彙】お正月に関することば	(98)
かんれんちしき しんしゅん 【関連知識】新春	(99)
まめちしき 新春(参考译文)	(99)
【豆知識】迎新年	(100)
だいじゅうごか びょういん 第15課 病院	(101)
じょうようごく 【常用語句】	(101)
おうようかいわ 【応用会話】	(102)
ちゅうしゃく 【注釈】	(104)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(105)
かんれんごい いりょう かん 【関連語彙】医療に関することば	(107)
かんれんちしき みま 【関連知識】お見舞い	(108)
まめちしき 探病(参考译文)	(108)
【豆知識】长寿之国与“过劳死”	(108)
だいじゅうろっか 第16課 スポーツ	(110)
じょうようごく 【常用語句】	(110)
おうようかいわ 【応用会話】	(110)
ちゅうしゃく 【注釈】	(112)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(112)
かんれんごい たいいく かん 【関連語彙】体育に関することば	(113)
かんれんちしき よかすかた 【関連知識】余暇の過ごし方	(114)
まめちしき 休闲方式(参考译文)	(115)
【豆知識】东瀛的体育	(115)
だいじゅうしちか めんせつ 第17課 面接	(117)

じょうようごく 【常用語句】	(117)
おうようかいわ 【応用会話】	(117)
ちゅうしゃく 【注釈】	(120)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(120)
かんれんごいせいかくかん 【関連語彙】性格に関することは	(121)
かんれんちしきたいわ 【関連知識】対話のマナー	(122)
対话的礼节(参考译文)	(123)
まめちしき 【豆知識】面试时的注意事项	(124)
だいじゅうはちかじょうしゃ 第18課 乗車	(125)
じょうようごく 【常用語句】	(125)
おうようかいわ 【応用会話】	(125)
ちゅうしゃく 【注釈】	(128)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(128)
かんれんごいこうつうかん 【関連語彙】交通に関することは	(129)
かんれんちしきつうきん 【関連知識】通勤	(130)
通勤(参考译文)	(130)
まめちしき 【豆知識】便利的交通	(131)
だいじゅうきゅうかでんわ 第19課 電話	(132)
じょうようごく 【常用語句】	(132)
おうようかいわ 【応用会話】	(134)
ちゅうしゃく 【注釈】	(135)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(136)
かんれんごいでんわかん 【関連語彙】電話に関することは	(136)
かんれんちしきでんわはなかた 【関連知識】電話での話し方	(137)

使用电话时的注意事项(参考译文)	(138)
【豆知識】你会接听电话吗?	(139)
だい にじゅう か わか 第 20 課 別れのあいさつ	(140)
じょうようごく 【常用語句】	(140)
おうようかいわ 【応用会話】	(140)
ちゅうしゃく 【注 释】	(142)
おうようれんしゅう 【応用練習】	(142)
かんれんごい こうつう かん 【関連語彙】交通に 関する ことば	(143)
かんれんちしき でむか みおく 【関連知識】出迎えと見送り	(144)
迎接与送行(参考译文)	(144)
まめちしき 【豆知識】日本 的 民族 构成	(144)
附录	
附录 1 “あいうえお”趣味短文	(146)
附录 2 “こそあど”系列词	(146)
附录 3 英文字母的日语读音	(147)
附录 4 如何将日本年号换算成公元年	(147)
附录 5 日语中人称的恭称和敬称	(148)
附录 6 尊他语动词和自谦语动词	(149)
附录 7 中国各省、自治区、直辖市的日语读音一览表	(150)
附录 8 日本的行政区划	(151)
附录 9 教室用语	(153)
附录 10 单词	(154)
参考文献	(171)

だい いつ か に ほん ご も じ はつおん
第 1 課 日本語の文字と発音

に ほん ご も じ
【日本語の文字】

中日两国是一衣带水的近邻，有着两千多年的友好往来和文化交流的历史。公元六七世纪以前，日本只有自己的民族语言而没有文字。古代日本人以口述等方式，将本民族的历史和文化一代代地传承下来。公元 286 年，百济人王仁携带中文《论语》及《千字文》等书籍东渡日本，于是汉字开始传入日本。

我国隋唐时期，中日交流活动频繁。日本派出一批又一批的“遣隋使”“遣唐使”出使中国。不少日本的僧侣和留学生相继来中国学习，中国的使者和僧侣也前往日本，由此，中国文化大量涌向日本。同时，汉字大量传入日本，具有文化修养的日本人才开始使用中国的汉字作为本国的文字，记载日本语言。日本最早的历史文献（如《古事记》）都是用汉字写成的。

因为汉字笔画繁多，且外来文字又难以准确地表达日本民族自己复杂的情感，在使用汉字的过程中，他们感到了种种不便。于是，日本人的祖先便在汉字的基础上，进行了长期不懈的努力，创造了自己的文字——假名（“假名”是相对于当时称为“真名”的汉字而言的），假名分为平假名和片假名。

现代日语的基本书写形式是汉字和假名的混写体，此外还有罗马字和阿拉伯数字等。传统的书写方式与中国古代汉语相同，采用由右向左竖写。直到现在，报刊杂志、文艺书籍等仍旧有很多是竖写。而公务文件和科技论文则以横写为标准书写形式，教科书除国语（日语）外也全部采用横写形式。

本教科书因为是面向初学者的，所以汉字都附有假名注音。

かん じ
(一) 漢字 (汉字)

1. 日语的汉字

日语中的汉字，是由中国传去的外来文字。汉字传入日本后，极大地丰富了日语的词汇。可是，由于汉字数量太大，日本人感到在记忆、读写等方面困难极大。所以，日本政府从 1946 年起，下令限制汉字的使用数量，对汉字的书写进行了多次改革，现在规定的常用汉字为 1945 个，此外还有一些不属于常用汉字但主要用于标记人名、地名和动植物名的专用汉字“人名用汉字” 284 个。

日本政府规定中小学生要学习 1006 个字，而中国中小学生却要学习 3000 个汉字。中国人学习日语有得天独厚的条件，于是，有人认为学习日语比较容易。其实并非如此。由于字形不同，读音又有音读和训读，再加上从印欧语引进的外来语和复杂的语法规则，所以，要学好日语就必须认真刻苦。

中日两国的汉字，随着时代的发展，特别是进入 20 世纪之后，由于两国各自都进行

了汉字简体字改革，由此产生了一些差异，在学习时要特别注意它们之间写法的不同。下面就日语中的汉字分述如下：

日语中的汉字有五种类型（左为日语常用汉字）：

1) 日语中的汉字与中国汉字字形、字义相同的，如：

虫/虫、号/号、声/声、回/回、旧/旧、体/体、万/万、宝/宝、国/国等。

2) 字形不同、字义相近的，如：

異—异、辺—边、変—变等。

3) 延用繁体字的，如：

書(书)、義(义)、產(产)、動(动)、徹(彻)等。

4) 字形只有微妙之差的，如：

骨与骨、勤与勤等。

5) 日本人利用中国汉字六书的造字原理创造的特有“汉字”，称作“和字”“国字”。

这类字为数极少，不必犯愁。例如：

とうげ　　おもかげ　　しつけ　　つじ
峠(山顶、顶点)、　　佛(影像、痕迹)、　　躰(教育、教养)、　　辻(十字路、路
たこ　　はたけ　　どんぶり
旁)、　　凧(风筝)、　　畠(旱田、旱地)、　　丂(深底厚磁的大碗、海碗)等等。

2. 日语汉字的读音

日语汉字的读音，分音读和训读两种。

1) 音读：就是模仿中国古代汉字读音的读法。实际上音读又可分为“吴音”“汉音”“唐音”三种。因为一部分日语汉字保留了六朝时期由中国的吴国引进的“吴音”，唐朝时期，从中国的唐都长安引进的“汉音”，以及后来从宋、元、明、清各朝代引进的“唐音”。例如：

人：(吴音读) ニン；人間：(吴音读) ニンゲン

人：(汉音读) ジン；人体：(汉音读) ジンタイ

总之，日语汉字的音读源于古汉语，是汉字传入日本之后，日本人按照汉字的原音读汉字，亦可称为汉字的“音译”。

2) 训读：是汉字传入日本之后，日本人根据汉字的字义按日语固有的读法读出的汉字叫训读，也可以说是汉字的“意译”。比如汉字的“川”是“河”的意思，日语词称“河”为“カワ”，这样就将汉字的“川”读为“カワ”了。也就是人们通常所说的给汉字配上日本固有读音的读法。如，“後”读“のち”，“我国”读“わがくに”等。

对于中国人来说，音读似乎比较容易学，然而，对于日本人来说，不管是音读还是训读，都只不过是汉字的一种读法而已。

通常情况下，一个汉字都有“一组”相对应的音、训两种读法。如：

汉字： 山、 水、 花、 布、 犬、 旅

音读： サン、 スイ、 カ、 フ、 ケン、 リョ

训读： やま、 みず、 はな、 の、 いぬ、 たび

不过，有的汉字是只有音读没有训读，如：農、肉、鉄、冶、駅。有的汉字只有训

读而无音读，如：畑、咲く、凧等等。

此外，少数汉字则有很多种音训读法。如“下”字，音读读为“カ、ケ”，训读读为“した、しも、もと、くだる、くだす、さがる、さげる”。再如“生”字，音读读为“シヨウ、セイ”，训读读为“生まれる、うむ、いきる、いかす、なま、き”。

（二）仮名（假名）

汉字本来是我国的表意文字。日本在我国的隋唐时期大量引进汉字，起初是把汉字作为字母（音符）使用，后来以汉字为基础，创造了假名。假名是一种由汉字演变而成的音节文字，形成于距今大约一千年前的日本平安朝时期。在假名出现以前，日语是用汉字来记音的。例如，音节カ（ka）最早用汉字“加、可、歌、贺、我”等表示，音节タ（ta）用“太、多、丹、他、驼”等表示，音节ト（to）用“止、刀、斗、登、碌”等表示。“わたくし”写作“和多久志”，“うつしおみ”写作“宇都志意美”。后来把这种记音汉字叫做“万叶假名”（这个名称源于日本最早的一部使用这种记音汉字的古歌集《万叶集》）。

表1 假名字源表

平假名字源表					片假名字源表				
あ安	い以	う宇	え衣	お於	ア阿	イ伊	ウ宇	エ江	オ於
か加	き幾	く久	け計	こ己	カ加	キ幾	ク久	ケ介	コ己
さ左	し之	す寸	せ世	そ曾	サ散	シ之	ス須	セ世	ソ曾
た太	ち知	つ川	て天	と止	タ多	チ千	ツ川	テ天	ト止
な奈	に仁	ぬ奴	ね祢	の乃	ナ奈	ニニ	ヌ奴	ネ祢	ノ乃
は波	ひ比	ふ不	へ部	ほ保	ハ八	ヒ比	フ不	ヘ部	ホ保
ま末	み美	む武	め女	も毛	マ末	ミ三	ム牟	メ女	モ毛
や也		ゆ由		よ与	ヤ也		ユ由		ヨ与
ら良	り利	る留	れ礼	ろ呂	ラ良	リ利	ル流	レ礼	ロ呂
わ和				を遠	ワ和				ヲ
ん无					ン				

平假名和片假名是以汉字为基础创造的表音文字。它们的发音完全一样。

平假名是在汉字草书的基础上创造的文字，用于一般的书写和印刷，字体柔和、简练流畅、自由洒脱。

片假名是在汉字楷书的基础上，利用偏旁部首创造的文字，故书写规范，横平竖直，有棱有角。用于标记外来语，电报，需要特殊标记的词汇，拟声、拟态词等。

（三）ローマ字（罗马字）

日本称拉丁字母为罗马字。但是，通常所说的罗马字（ローマ字）指的是日语拉丁字母拼音。

日语罗马字有相当长的历史。早在四百多年前的室町时代（1338年—1573年）后期，

来日本的葡萄牙传教士就开始以葡萄牙语为蓝本使用拉丁字母拼写日语。当时的辞典、教科书很多是用罗马字书写的，不久因日本实行锁国政策而被禁止。到了明治时代，罗马字运动（日语拼音化运动）又兴起。然而，由于种种原因，罗马字运动的最终目的还没有达到。实践证明，只用罗马字来表达日语是万万行不通的。

现在，罗马字只用在一些特定的场合，例如用来为人名、地名标音（如 TANAKA, TOKYO, GINZA…），制作商标（如 SONY, TOYOTA, NISSAN…）、名片和广告宣传品，打电报，打字机或计算机中输入日文，有些工具书也用罗马字编排词序，外来语的略语以及日语词语的简称（如 NHK, NTT, SF, WTO…）的使用范围有逐渐扩大的趋势。

（四）句読点（标点符号）

日语中所使用的标点符号（句讀点）和中文既有相同、相似之处，也有许多不同的地方。

1. 句号：“。”（句点、まる）

标在句尾。

2. 逗号：“、”（読点、点）；“,”（コンマ）

日语中不分逗号和顿号，统称为“読点”。但从形态上看，一种相当于逗号，一种相当于顿号。横写时大多写作“、”；也写作“,”（コンマ）。写作顿号时主要用于名词以外的词或词组的并列。按规则，在竖写格式中一律用“、”（読点、点）。

3. 中点：“・”（なか点、なかぐろ）

仅用于表示并列的体言，以及用来隔开两个单词构成的外来语、西洋人的名和姓。

4. 问号：“？”（疑问符、クエスチョンマーク）

用于表示疑问、发问、质问和反问等语调特别强调的疑问句。日语中的问号在一般的文章中很少使用。在疑问句中，大多用助词“か”表示疑问，后面加句号。而“？”多出现在无“か”的问句中。

5. 感叹号：“！”（感叹符）

用于表示感动、感叹、强调、警告等感叹句。与问号相同，在一般的文章中也是原则上不用感叹号，而是用句号代替。主要出现在以年轻人为主要对象的娱乐性杂志或漫画书刊中。

6. 单引号：“「」”（かぎ括弧、かぎ）

用于引用会话、语句时，或用于要求特别注意的词语。

7. 双引号：“『』”（二重かぎ括弧、二重かぎ）

用于表示图书、报纸、杂志等的名称及文章的标题。以及在单引号内需要用引号表示的部分则用双引号表示。

8. 破折号：“——”（ダッシュ）